



自由と規律のバランスが良く どんなことにもチャレンジできる場所

山里 レオさん (順天堂大学医学部医学科6年)

城北中学校・高等学校

所在地：〒174-8711 東京都板橋区東新町2-28-1
東武東上線「上板橋」駅より徒歩10分、東京メトロ
有楽町線・副都心線「小竹向原」駅より徒歩20分
TEL：03-3956-3157
<https://www.johoku.ac.jp>

城北中学校・高等学校は「人間形成と大学進学」を教育目標とし、広い視野、判断力、問題解決力などを兼ね備えた魅力あふれる人間の育成に取り組む男子進学校です。同校を卒業し、順天堂大学医学部で学びながらマジシャンとしても活躍する山里レオさんに、勉強や趣味に邁進した6年間を振り返っていただきました。

マジックのおもしろさに目覚めた中高時代

生徒を束縛し過ぎず、かといって放置するわけでもなく、自由と規律のバランスの良いところが城北の最大の魅力です。やる気のある生徒にはとてもいねいに指導をしてくれるし、勉強以外にやりたいことがあれば応援してくれるのです。だから生徒たちは、自分の好きなことに全力で取り組むことができます。

志望動機は、はっきり覚えていないのですが、「学校の空気が心地良く、自分に合っている」と直感したことは印象に残っています。実は2月1日の入試では不合格になってしまったのですが、2日目で合格できて本当によかったです。

わたしは今、大学生活を送る一方で、プロのマジシャンとしても活動していますが、この活動のルーツは城北にあります。高2の際に、奇術同好会(マジッククラブ)を立ち上げたのです。中学でマジックに魅了され、高1で先輩や同級生と共に活動実績を積み上げ、先生に頼み込んで顧問を引き受けてもらいました。強引にお願いしたにもかかわらず、熱心に面倒を見てくれました。卒業後も同好会が存続していることをとてもうれしく思っています。

クラス最下位の成績から医学部へ!

最初に医学部を意識したのは、高1のとき。「人の役に立つ仕事がしたい」と思ったのがきっかけです。といっても、わたしは勉強が苦手で、中1での成績はクラスで最下位でした。その後、徐々に成績は上がりましたが、高1になっても平均をようやく超える程度。恥ずかしくて、とても「医学部志望」とは言えませんでした。そんなとき、キャリア教育の一環として、卒業生や保護者の方からさまざまな仕事の話を聞くイベントが校内で開催されたのです。このときにドクターから聞いた話に感銘を受け、勇気を出して控室まで会いに行ったところ、ものすごく励ましてもらい、「何がなんでも医学部に入る」という決

意が固まったのです。

それからは、各教科の先生のアドバイスを受けながら、とにかく基礎をやり直しました。どんな教科でも、基礎から応用へとピラミッド型に知識をしっかりと積み上げないと、実力はつきません。なかでも大切なのは、ピラミッドの土台に当たる「基礎知識」です。そこで、ひたすらこつこつと反復学習に取り組むことにしました。そのおかげで高3の後半から、目に見えて偏差値が上がるようになったのです。

これからの目標はたくさんありますが、まずは医師の国家資格取得という目の前の課題をクリアしなければなりません。卒業後は、できれば臨床と研究を両立させたいと考えています。そしてゆくゆくは、治療法が確立されていない難病を治せる医師になりたい。そんな大きな夢があります。その一方で、マジックにも力を入れていくつもりです。昨年、マジックのアジア大会に出場したものの、残念ながら入賞を逃したので、次こそは世界大会に出場したいと思っています。



在学中はクラス担任としてお世話になった校長の小俣力先生と

Information

【中学校説明会】要予約

10月 6日(土) 13:30～
2月23日(土) 13:30～

【中学校入試説明会】要予約

11月23日(金・祝) 10:00～
12月 1日(土) 13:30～

【中学校施設見学会】要予約

12月15日(土) 13:30～

【体験授業】要予約

10月20日(土) 13:00～

【クラブ公開】要予約

10月27日(土) 13:00～

【自由研究展示会】

12月15日(土) 13:30～
12月16日(日) 10:00～

【体育祭】

9月 8日(土) 8:30～

【文化祭】

9月29日(土)・30日(日)

9:00～16:00